



樽病だより こころ

平成20年秋号
通算11号
発行
平成20年11月
市立小樽病院広報委員会
電話25-1211

♪ 透き通った声に癒されて・・・♪

職員のためのミニコンサート

心に響く石谷嘉章さんの歌声

「病院で働くということは、生命を預かるとても大変な仕事。日頃患者さんのために頑張っている皆さんが、いつも笑顔で心も体も健やかに仕事ができるよう祈りを込めて歌います。」会場に集まった約五十人の職員に、石谷嘉章さんは温かい言葉を贈ってくださいました。

当院の看護部で組織している「看護の質向上委員会」が、職員を対象にしたミニコンサートを企画。去る九月十七日、6階講堂を会場に開催されました。

この委員会では、文字通り看護の質の向上を目指し、様々な活動に取り組みで参りましたが、今回は癒しをテーマにしたコンサートという異色のプログラム。委員会の代表者は今回の企画の趣旨について、「忙しさに追われて心がすさんでしまつては、看護の質も向上しない。美しい音楽に触れて精神的に潤うことで、自ずと他者を思いやる気持ちが芽生え、看護の質の向上にもつながると考えました。」と語っていました。

石谷さんがピアノの生演奏を交えながら透明感あふれるファルセット（裏声）を生かして披露してくださった曲目は「アヴェ・マリア」「アメイジング・グレイス」、「千の風になつて」など、誰もが心打たれる名曲。「ジューピター」のメロディに誘われるように昇ってきた月の光の中ムードは最高潮に。アンコールの「翼を下さい」では、聴衆も思わず一緒に口ずさんでしまったほどでした。



石谷嘉章さん
石谷さんは小樽在住二十六歳。十九歳から、ファルセットを織り交ぜた独特の声で音楽活動を開始。「皆さんの笑顔が見たい」をモットーにライブハウス、イベント、アカペラストリートなどを展開中

石谷さんは現在、地元を中心に音楽活動を展開しており、時には路上ライブも行っているとのこと。いつか街の中で、石谷さんの美しい歌声に出会えるかもしれません。

今回は職員を対象にしたコンサートでしたが、毎年年末に行っている患者さんの皆様のためのコンサートを、今年度も開催する予定です。一所懸命病氣と闘っている患者さんや、皆さんを支えているご家族に、癒しのひとときを持っていただきたいと考えています。



目次

- 職員のためのミニコンサート……………1ページ
- 注射で痔を治す〜一泊二日の内痔核治療の？……………2ページ
- 健康のはなし〜遠方でもやまばなし……………3ページ
- インフルエンザとその予防……………4ページ
- 感染症管理認定看護師 森山 洋子……………4ページ
- お知らせ〜インフルエンザ予防接種〜健康相談会……………4ページ

病院理念

良質の医療、信頼の医療を優しさと思いやりをもって提供する病院

地域の中核医療を担う市立病院で働く職員、医療人としての使命感を持ち協調して行動する病院

基本方針

- ・ 科学的でかつ良質・効率的な医療の提供を目指します。
- ・ 医療の安全管理に最大の努力をばらいます。
- ・ 患者さまの満足度の向上に努めます。
- ・ 患者さまの権利を尊重し患者さま本位の人間味あふれる医療を行います。
- ・ 市立病院は市の行政施策のひとつとして存在することを認識し行動します。
- ・ 地域の医療機関や福祉施設等の連携等により地域完結型の医療を推し進めます。
- ・ 医療の使命に情熱を燃やす職員集団として日々研鑽に励みます。
- ・ 職種、診療科を超えたチーム医療に徹し病院の総合力発揮します。
- ・ 良質で安全な医療を提供するため経営健全化に努めます。

注射で痔を治す！ 一泊二日の内痔核治療

その2

外科医長 越前谷勇人

今回は、ALTA注による四段階硬化療法についてお話しいたしました。連載の第2回目当たる今回はALTA注による四段階硬化療法は、実際にはどのように行われるのかについてお話ししたいと思います。

実際の診療においては、外来で手術が決定されると必要な検査を行った上で入院して手術を行い退院となります。このような一連のプロセスにおける重要なポイントを、あまり専門的なことは省いて皆様に分かりやすく順を追って説明させていただきます。

1 外来：直腸指診、肛門鏡検査などにより内痔核と診断され、ALTA注による四段階硬化療法の適応であると判断された方は、採血、胸部レントゲン検査、心電図などの一般検査を行い手術可能であることを確認いたします。この段階で重篤な基礎疾患が疑われた場合には、まずそちらの診断と治療を優先します。

2 入院：通常は手術当日に入院していただきます。朝食は控えめに（通常の1/2程度）召し上がっていただいで結構です。入院後、万一手術

中の変化に備えて点滴を行い投薬ルートを確認いたします。

3 手術室への入室：手術開始の十五分前までに入室し、氏名生年月日などの本人確認を行います。

4 体位：手術室に入り、手術台の上に側臥位になり膝を抱えていただきます。

5 体位の固定：臀部にテープを張り牽引し、肛門が良く見えるように固定します。

6 肛門の消毒：イソジンにて十分肛門周囲および内部を消毒します。

7 麻酔：肛門周囲に局所麻酔をいたします。

8 肛門鏡：肛門指診の後、Z式肛門鏡（ALTA注専用の肛門鏡です）を挿入し肛門内部を観察します。

9 ALTA注による四段階硬化療法（図Aを参照してください）

四段階注射法とは、痔核を①痔核上極部、②痔核中央の深部と③浅部、④痔核下極部に分けてALTA注による注射を行う治療法です。

①：第一段階では痔核上極部の粘膜粘膜下層にALTA注を投与します。

②：第二段階では痔核中央部の粘膜下層にALTA注を投与します。

③：第三段階では、第二段階の注射針を痔核から除去せずそのままゆっくりと手前に引き抜き痔核中央部粘膜固有層にALTA注を注射します。

④：第四段階では痔核下極部の粘膜下層部にALTA注を注射します。

その際には、患者様に痛みのないことを確認しながら行うことがポイントです。この確認により肛門括約筋への薬液の誤注入を防止し合併症を回避することができます。

当院ではこの点を重視し局所麻酔にて行っています。基本的には、内痔核の浅層レベルには痛覚神経は存在しませんので注射が的確に行われていれば痛みは感じないはずですが、薬液を投与する前に必ず注射針だけを刺入し患者さまに痛みの有無を確認し、痛みがあれば針が深く入り筋層（肛門括約筋）に当たっているか肛門上皮（外痔核領域）に近すぎるかのいずれかの可能性がりますので針の刺入位置を変更します。

注入後は痔核壊死を防ぐために、薬液が痔核内に行きわたるように肛門内を十分マッサージします。平均約十五分で治療は終了します。

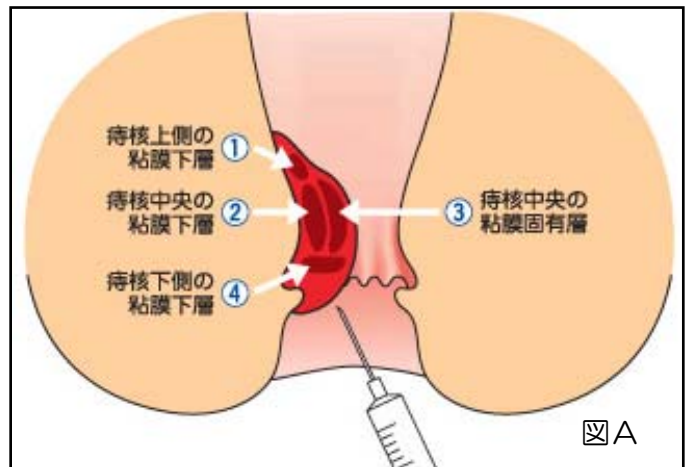
10 ALTA注注射後：疼痛、出血のないことを確認します。

11 手術室退室後：通常通りの生活をしていただきます。

12 手術翌日：肛門からの大きな出血、疼痛がないことを確認して退院許可が出ます。

なお抗生剤は、手術当日と翌日のみ投与いたします。

このように、ALTA注による四段階硬化療法が行われています。ただしそれぞれの段階における適切なALTA



図A

ALTA注の至適投与量および注射針の深さは微妙であり、これを誤ると重篤な合併症が生じる危険性があります。このことが特別な講習をクリアしたライセンス医師による投与が必要な理由となっています。

当院では、患者さまの受けられる治療に関して、一泊二日のクリニカルパス（患者さま用パスを参照してください）を作成し入院中のスケジュールを前もってお知らせしております。患者さまと医療スタッフとがパスを共有することによりコミュニケーションを取りやすく信頼関係を築けるように勤めております。

以上今回はALTA注による四段階
硬化療法の実際についてお話しさせて
いただきました。次回は、痔核の種類と
肛門の解剖、ALTA注の適応疾患、
治療のメカニズムなどについてお話し
する予定です。



患者さま用クリニカルパス

項目	外来～入院当日	手術前日
目標	＜患者さまの目標＞ 安心して手術を受けることができる。 そのために手術や入院中の分からないことはご遠慮なくお尋ねください。	
治療・処置・検査	手術のための検査をします。 ・採血 胸のレントゲン 心電図など	眠れない方はお薬をご用意いたしますので、 医師または看護師にご相談ください。
内服薬・点滴	いつも飲んでおられるお薬はご持参ください。 医師、または看護師が確認の上いつもの 通り飲んでいただきます。	眠れない方はお薬をご用意いたしますので、 医師または看護師にご相談ください。
活動・安静度	いつもと同じようにお過ごしください。	医師または看護師が確認の上いつもの 通り飲んでいただきます。
食事	制限はありません。	お風呂に入っております。
清潔	いつもと同じようにお過ごしください。	お風呂に入っております。
排泄	便秘や下痢気味の方は、ご相談ください。	医師から手術についての説明があります。
患者様及びご家族への説明	医師から手術についての説明があります。	入院後に病棟をご案内し、入院中や手術 の必要物品を説明させていただきます。
書類	手術承諾書の確認	入院計画書

項目	手術当日	
目標	＜患者さまの目標＞ 安心して手術を受けることができる。 そのために手術や入院中の分からないことはご遠慮なくお尋ねください。	
治療・処置・検査	(手術前) 患者さまの間違いないように名前をバンド を手首につけさせていただきます。	(手術後) 消灯頃まで時間毎に検温・血圧測定をし、 傷の状態を診させていただきます。 痛みや気分不快などがありましたら、ご相 談ください。適宜、対処いたします。
点滴・内服	右腕から点滴をします。 (水分補給と化膿止めです)	化膿止めの点滴をします(手術後1日目ま で) お水が飲めるようになったら、水分・栄養補 給の点滴は終了します。
活動・安静	特に制限はありませんが、手術前の準備が ございますので、病室でお過ごしください。	病室に戻られましたら、制限はありません です。
食事	朝食は半分ほどに控えて食べてください。 お水は指定時刻より飲むことはできません。	食事をとることができます。
清潔	お風呂には、入れません。身体をタオルでふか せていただきます。	病室に戻られましたら、トイレにいきます。
排泄	手術室に行く前にトイレは済ませ ておいてください。	病室に戻られましたら、トイレにいきます。
患者様及びご家族への説明	手術の必要物品をお預かりします。 手術室へ行く前に手術室へ行きます。	手術が終わり次第、担当医からご家族にお 話(説明)があります。 病室に戻り、処置が終わりましたらご面会 ができます。

項目	手術後1日目から退院まで	
目標	痛みが落ち着き不安なく退院できる。 退院後の生活について不安や疑問があれば、医師または看護師にご相談ください。	
治療・処置・検査	回診のときに医師が傷の状態を診ます。 看護師が検温時、傷の状態を診させていただきます。 (手術後1日目)採血があります。	傷の状態を確認し たうえで、入浴許可 ができます。
点滴・内服	食事が出ますので、お薬は今までと同じように飲んでください。	
活動・安静	特に制限はありません。	
食事	特に制限はありません。傷が早く治るようにしっかり食事を摂って、体力をつけましょう。	
清潔	入浴はできませんので、看護師が体を拭く のお手伝いします	傷の状態を確認し たうえで、入浴許可 ができます。
排泄	傷に負担がかかりますので、お便の時も強く力まないでください。 便秘が心配な方はご相談ください。	
患者様及びご家族への説明	手術後はお腹に強い力をかけないよう、重い物を持ちたり かんざり しないように注意してください。手術後、軟膏が処方されます。1日2 回肛門へ挿入し塗布してください。	
書類	退院後も上記の生活を心がけて下さい。 退院後になにか異常がありましたら、早期受診してください。 退院手続き 退院のしおり 診察券の受け取り退院が決まりましたらアンケートをお渡しいします。退院前日までに回収させていただきます。	

健康のはなし

漢方薬よもやまばなし3

(内科医長 木曾田 理絵)

漢方特有の考え方に、構成する
生薬の分け方として『上品』よう
ほん』『中品』ちゅうぽん』『下
品』げほん』があります。上品は
食物でもあり、身体への負担が少

なく、長期
投与可能な
ものです
が、中・下
と進むにつ
れ、生薬の
長期投与と
しての安全



性が低くなると考えます。これは東
洋医学の末病を治すとか気血水のバ
ランスを取るといった考え方から生
れたもので、薬の効果の捕らえ方が
違えば、優越のつけ方は変わってき

ます。西洋医学のように感染症・外
傷といったすでに正常からずれてし
まった状態を治す治療では薬は強い
効き目が必要とされ、切れ味もい
代わりに毒にもなり得る下品から抽
出・精製して作られていったので
す。毒は毒をもって制せよというわ
けです。すなわち西洋薬は『諸刃の
剣』といった面を持つのですが、そ
れでは西洋薬で長期投与が必要な病
状ではどうでしょうか？高血圧・高
脂血症・糖尿病などの生活習慣病の
際、薬は飲まないほうがいいので

しでしょうか？答えはいいえです。生活習
慣病は長年の生活の歪みの結果出てき
たもので、その影響は一朝一夕で消え
るものではなく、生活習慣を正しても
正常から外れた値が継続すれば動脈硬
化を進展させると考えられるからで
す。もちろん数値のみを良くして生活
改善をしなければ、病は進んでいくと
東洋医学では教えています。

木曾田医師の外来診療は
火曜日、木曜日、金曜日です。

インフルエンザとその予防

感染管理認定看護師 森山 洋子

突然の高熱。食事ものを通らないほど体がだるくて動けない。咳、鼻水が出る・・・毎年、秋から冬にかけて流行する呼吸器感染症「インフルエンザ」の典型的症状です。この「インフルエンザ」の予防法をご紹介します。

- ① インフルエンザにかからない健康な体づくり（適度な運動・バランスの良い食事・十分な休息）
- ② 人が大勢集まる場所を避ける
- ③ 外出時はマスクを着用（鼻や口の粘膜が乾燥しないようにし、ウィルスの侵入を防ぐ）
- ④ うがい・手洗いをする
- ⑤ 毎年インフルエンザワクチンを接種する

これらの予防法の中で、毎日行うこともなく、常に気をつけていなくてもできることが、5番目のワクチンの接種です。

「インフルエンザワクチンとは」

インフルエンザのワクチンは、なぜ毎年この時期に受けなければならぬのでしょうか？

それは、ワクチンの効果が持続するのは約五ヶ月と短期間であることと、更に流行するインフルエンザの株が毎年のように少しずつ変化することからです。

また、インフルエンザワクチンを接種しても、絶対にインフルエンザにかからないというわけではありません。

せん。しかしワクチンを接種することで免疫機能がはたらいで、人がインフルエンザウイルスに感染したことに伴って発症する高熱や倦怠感、食欲不振などの様々な症状を軽くし、肺炎などの重篤な合併症になることを防いでくれるのです。

なお、インフルエンザのワクチンの効き目が出るまでには、接種からおよそ二週間程度かかります。ですから、流行時期より少し早めに接種することをお勧めします。

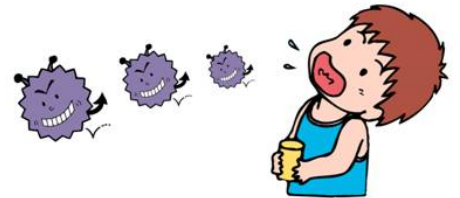
「予防は大切」

インフルエンザウイルスに感染し、それがもとで深刻な病気になってしまふことが毎年少なからずあります。

特に高齢の方や介護をされている方、学校や施設などで集団生活を送る方、免疫の低下が考えられる持病をお持ちの方、もちろん医療従事者にも予防接種をお勧めします。

インフルエンザの流行を防ぐには、みんなで予防行動を取ることが大切なことです。

もしも症状が現れたら、マスクをしたり、ティッシュペーパーなどで咳やくしゃみをカバーするなど、「咳エチケット」を守り、早めに診察を受けましょう。



インフルエンザ予防接種のお知らせ

インフルエンザ予防接種ご希望の方は、当院通院中の場合（皮膚科を除く）は通院診療科に、通院していない場合は内科に、新患または再来の受け付けをして受診願います。（※中学生以下は小児科を受診してください）医師が診察して接種の可否を判断させていただきます。

また、土・日・祝日、年末年始の休日とその前日（金曜日及び十二月二十二日、二十九日）は、接種できません。

◎受付時間

月～木の午前中の受付時間内

◎小児科受付時間

火・木の午後3時～4時

★年齢によって2回接種を要します。

★来院日の前日、午前十二時までに予約願います。

★受け付けは、予約時間の十分前までに新患・再来とも①番窓口に出してください。

◎料金

一回につき二千二百五十円（税込み）

★小樽市内に居住する六十五歳以上の高齢者または六十歳から六十四歳の内部障害のある障がい者の方は料金に公費助成があり、自己負担が千円になります。受け付け時に健康保険証（内部障害のある方は障害者手帳が主治医の診断書）を提示してください。

★六十五歳以上の高齢者で生活保護受給の方は、生活保護手帳を提示すると自己負担が無料になります。

小樽病院

「健康相談会」を開催します

日頃、健康についてご心配なこと、相談してみたいことはありませんか。

小樽病院では、「健康相談会」を開催いたします。

市立小樽病院の経験豊富な看護師が、健康に関する皆さんのご相談に応じます。

また、「血圧測定」や「体脂肪率」「骨量測定」なども受けることができます。

ご自分の健康チェックをするつもりで、ぜひ足を運んでください。

日時

平成二十年十一月十二日(水)

十三日(木)・十四日(金)

9時～12時

場所

1階外来 健康相談コーナー

